

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 多賀の里

(ユニット名) 参丁目

記入者(管理者) 管理者:目見田 恵子

氏名 記入者:武田 良太

評価完了日 平成 20 年 10 月 26 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の人達と交流を図り、利用者の暮らしが地域社会に開かれたものとなるようにとの理念を作っている。		
			(外部評価)		
			「利用者が穏やかに生き生きと社会生活が営めるよう」事業所の理念を掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			名札の記載、又、日々の業務の中で理念について話し合い、皆が実践できるよう取り組んでいる。ユニット内には理念を共有できるよう掲示している。		一日のはじめに理念に対して言葉で読み上げる習慣を作る。
			(外部評価)		
			理念は名札の裏に示し、日々の業務やユニット会等でも話し合い、日々実践に取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ユニットごとに家族・地域の方が来られた時に理念を見やすい所に掲示している。		わかりやすい位置や文字の大きさ、色などを工夫したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 外出先・散歩などで顔見知りの人に出会った時には、声をかけて来てもらうよう努めている。		特定の方に限られてしまうので施設での行事の時など交流を図り、気軽に立ち立ち寄れる施設をアピールしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会・地方祭など地域で行われている行事にはできるだけ参加している。利用者の体力低下があり、場所などで限られてしまうことがある。小、中、高との交流にも努めている。 (外部評価) 事業所では、利用者が地域の中に出かけ、地元の人達と交流できるような機会を積極的に作っておられる。小・中学生や高校生との交流を重ね、高校生や地域の方と一緒に餅つき等もされている。		地域の方に声を掛け、一緒に交流できるイベントを考えたい。 事業所は、「地域との共生」に力を入れて取り組んでおられ、さらに今後も地域に出かけることをすすめ、地域の方達に向けて、介護の知識や技術の講習にも、取り組んでいきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 体力低下があり、ほとんど取り込む事は難しい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員が外部評価の改善内容をみて、ユニット内で話し合っている。 (外部評価) 自己評価は、各ユニット会時に職員で取り組み、ユニットリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、トイレにカーテンを取り付けられたり、利用者の身体機能の維持向上にも力を入れて取り組まれた。		できることから1つ1つ取り組んでいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2カ月に1回行い、実際の状況について写真などを見てもらい、説明し、それについて意見を出してもらっている。		意見により、地域への誘いなどがあり、サービス向上につなげている。
			(外部評価)		
			会議では、利用者の日常の様子を写真等で、わかりやすく説明された。出席者が、地域の方達に声をかけてくださり、事業所と地域の人とのつながりの輪がさらに広がってきている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村担当者や運営推進会議などでサービス向上に向けて連絡を取りあっている。		
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられる。市主催のサービス向上連絡会議に参加し、意見交換をされている。市の担当者に、成年後見制度等についての相談等もされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			制度については、学ぶ機会がないため、一部の人が知らない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			法律については、ほとんど職員が学ぶ機会がなく知らない。虐待は絶対にしてはいけないことだと、スタッフ全員が認識している。		スタッフ同士で行き過ぎた対応・言葉かけがあった場合は注意するようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分に説明し、納得してもらっている。		スタッフ全員が契約に関する知識が必要
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情を言える利用者に対しては、管理者や職員、外部者に話しておりなるべく要望に応えられるよう対応している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 1ヶ月に1回、日常生活報告書を家族の方に送っている。その他は、面会時などに詳しく報告している。		意見などは、職員同士で話し合い、利用者さんに対して、良い対策を考えている。
			(外部評価) 利用者の日々の暮らしぶり等、ご家族の来訪時に報告され、又、毎月ご家族に送付する「日常生活報告書」に写真を添えて報告されている。		今後、年4回事業所便りを発行する予定となっていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族さんとのコミュニケーションを取って良く話し合っている。		意見などは、すぐに職員同士で話し合い、利用者さんに対して、良い対策を考えている。
			(外部評価) ご家族来訪時や事業所の夏祭りの際には、ご家族同士も交流されている。家族会時には「重度化した場合でも見てくれるのか」「付き添いはしなくてもいいのか」等の質問も出され、事業所は丁寧に答えられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 時々全体会を開き、意見交換の場になっている。		意見にもかたよりのがあるので、スタッフ1人1人が素直な考えができるような雰囲気作りをしたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員皆で助け合っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動があり、馴染みの支援は難しい。		職員移動は、できるだけ行わず定着してもらおう。
			(外部評価) 新しい職員が入るような時には、「ユニットごとの均一化を図る」ため、職員がユニット間で異動する事もある。日頃から、全ユニットの職員間で情報を共有し、利用者へのダメージを抑えられるよう努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける人、受けない人の個人差がある。		研修に行った後は、全体会でスタッフ全員に報告し勉強してもらおう。
			(外部評価) 法人内研修に参加されている。外部研修は、職員が希望する研修を受けられるようになっているが、時間のこともあり、外部の研修を受講することがむづかしいような職員もある。管理者は、職員個々の段階に応じ、指名して受講をすすめることもある。		管理者は、今後、外部研修で得た情報を内部研修の際に、皆で共有できるよう、仕組みを作っていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
				他の事業所とも一緒に勉強会をしている時もある。		勉強会を2ヶ月ごとに開けるようにしたい。又、他の施設への勉強会にも参加したい。
			(外部評価)			
			法人内の事業所や市内の他グループホームと行事時等に交流されている。他グループホームからの実習も受け入れておられる。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
				年に数回、忘年会、花見など食事会を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
				適宜、面接など行い、向上心をもって働けるようつとめている。		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
				利用前に、家族の方の施設見学はある。		本人を含めて見学を行い、しばらく過ごしてもらい、どういう感じが知って欲しい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の方への不安がのぞけるよう話す機会を多くとっている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族・利用者との話し合いの場を持ち、対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所する前に施設に遊びに来てもらったり、徐々に施設での生活に慣れてもらっている。家族さんにも協力してもらい利用者の情報を集め、協力しながら対応している。		これからも、家族さんの面会時に利用者さんの情報をより多く収集していく。
			(外部評価) 入居間もない頃は、ご家族に頻繁に来訪いただけるよう声をかけておられる。職員は、ご本人に寄り添い、声かけも多く持つようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんが出来る事をみつけて一緒に行っている。		利用者さんが、漬物をつけてくれたり、料理を教えてくれている。
			(外部評価) 利用者同士と一緒に洗濯し、干したり取り入れたりする方もおられる。裁縫の得意な方は、職員のボタン付けをしてくださることもある。調査訪問時、昼食を食わずに台所で片づけをされている職員の方に利用者が「一緒に食事しましょうや。はよう(早く)おいで」と声をかけておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ユニット内での行事(クリスマス会)家族に参加を呼びかけている。		参加される家族は、限られてくるが、これからも続けたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時などに日常の様子を告げ、家族の方を交えて話をし楽しい時間を過ごせるように努力している。		遠くより家族の方が帰省された場合に家で過ごせるよう外出をうながしたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 面会時には、本人の様子を話している。		馴染みの所へ利用者をつれて行く。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者さん同士のかかわり合いを大切にしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスが終了しても、希望があれば対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望を述べる事のできる利用者さんにたいしては、できるだけ添えられるよう対応している。訴えることの難しい利用者さんに対しては、毎日の関わりのなかで把握に努めている。 (外部評価) 日々の関わりの中から、ご本人の希望や意向の把握に努めておられる。事業所では、生活記録の充実を図り、夜間は、1時間毎に利用者の様子を記録されている。急変した時の流れや、病院・ご家族への説明もしやすくなったと話しておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者さんとの関わりや家族との話し合いの中で、情報収集し、把握に努めている。		これからも利用者さんや家族さんなどの関わりの中で把握に努める。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人一人観察し総合的に把握できるよう努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者1人1人のケアプランをユニットの職員で話し合い作成する。家族の人もケアプランを見てもらい意見を聞いている。 (外部評価) 介護計画を立てる時には、これまでの計画を見てもらいながら、ご家族と今後の支援内容について相談されている。又、ユニット会等でも話し合いされている。		本人がよりよく暮らせるよう本人の意向に沿ったケアプラン作成に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				3カ月に1度介護計画書の見直しを行っている。	
			(外部評価)		
					計画は、3ヶ月に1度、見直しされている。状態変化時等は、その都度見直しされている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				毎日、申し送りをし情報の共有を行っている。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				本人や家族さんの要望に応じて支援している。	
			(外部評価)		
					事業所では、共用でデイサービス・ショートステイの受け入れをされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じていろいろな方に協力してもらっている。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向があれば必要に応じて行っている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人意向や必要に応じて行っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している (外部評価)	本人や、家族の望むかかりつけ医の医療を受けている。 利用者個々にかかりつけ医があり、往診もしてくれるようになっている。受診時は、ご家族や職員が同行されている。		引き続き本人や家族の希望かなうようかかりつけ医などと話し合っていきたい。
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者は、認知症に関する診断や治療をひつように応じて受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員と一日一回は、必ず連絡を取り合い相談しながら見守りを続けている。		これからは、取末期を迎える利用者が増えてくると思われるので看護スタッフとよい密接な連絡を取り合い支援していきたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は、こまめに病院関係者と連絡を取り合っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族会や家族が訪問された際などに終末期について話し合っている。 (外部評価) 事業所では「重度化対応・終末期ケア対応指針」を定め、ご家族に、急変時の対応についての希望も聞いておられる。状態変化時には医師・ご家族と話し合い、支援のあり方や体制について話し合いがなされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ユニットでは、入居者の高齢化が進んでいるので日々スタッフ間で話し合い努力している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入所時に十分な情報交換は行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人一人の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしている時がある。		これからもユニット会では言葉かけについて勉強し、その都度職員同士注意しあう。
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者に対してやさしく接しておられた。		職員は、「不適切な言葉かけをしたり、声かけが不十分であったりする時があるのではないかと日々を振り返っておられた。ケアの現場で感じておられることをもとに、「一人ひとりの尊重」という観点から、全職員で話し合う機会とされてはどうか。貴事業所のさらなるケアの質向上に向け、取り組みを重ねていかれてほしい。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 殆ど自立している方が多いため自分で毎日の暮らし方を決め生活している。できない利用者さんに対しては、簡単な言葉で声をかけている。		自分で選択する事ができる利用者さんが多いため外食で自分の食べたい物を選んだりする機会をもうけたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者さんがどうしたいか聞き、本人のペースを大切にしている。		これからもその人がどう過ごしたいか考えた支援をしていく。
			(外部評価) お友達のお宅を訪ねたり、お花の植え替えをされたり、ご本人のその日の希望をうかがいながら支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が行きたいと言う美容室に行けるようにしている。		訴える事のできない利用者さんはスタッフが様子を見て美容師さんをお願いし、施設に来てもらい髪をカットしてもらっている。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立は、利用者さんから希望を聞きメニューを立てている。食事の準備、片付けをスタッフと一緒にしている。 (外部評価) ユニット毎に職員が献立を立てておられる。利用者の力量に合わせて、準備や片付け等、職員と一緒にされている。外食時にはメニューを見ながら、好きなものを選んでもらえるよう支援されている。		利用者が畑で収穫した物で調理し、皆が美味しいと食べる事で生きがいとなっている。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ビールが好きな利用者さんには、3回/wビールの日を作っている。		おやつは同じ物にしているので、違う種類のおやつを出し、選んでもらう機会をつくる。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握することでできるだけトイレで排泄できるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴を早くしたい人が多い為くじ引きで決めてもらっている。		寝る前に入浴したい人は、その希望にそえるようにする。
			(外部評価)		
			毎日入浴できるようになっている。長めのお風呂を楽しむ方もおられる。むくみや血流の悪い方には、医師の意見も伺いながら、足湯や足のオイルマッサージをされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			ソファなどでウトウトされていたら声をかけ自室ベットにて臥床し休んでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家事にはできるだけ参加してもらっている。花や野菜を育てるのが好きな人には園芸をしてもらっている。		1人1人の楽しみごとが実行できるよう利用者さんの意見を聞く。
			(外部評価)		
			畑で野菜作りやお花の手入れ・草引き等をされたり、縫い物の得意な方は、ひ孫さんの洋服を縫ったりされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物に行き本人に支払いをしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			1人や利用者さん同士で散歩いかれるかたもいるが、なかなか、利用者さんの希望にそっては出かけられない。		
			(外部評価)		
			日々の散歩や買い物・ドライブの他、地域行事には積極的に参加されている。外出を希望される時には、その都度支援できるよう努めておられる。時に、職員の都合がどうしてもつかないような時には、ご家族の協力をお願いすることもある。		職員は、個々の行きたいところへの支援や、一泊旅行にも出かけたいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に一回ドライブ、外食に出かけてはいるが、家族の方などと外出する機会は作れてない。		行事予定を家族さんに伝え共に外出する機会を作る。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話ができる利用者さんには、いつでも電話ができるようにしている。手紙や電話を自らかける事のできる利用者さんは少ない。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも面会できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 会などで禁止対象をきいており、職員は理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、鍵をかけずケアに取り組んでいる。		
			(外部評価) 職員の見守りと声かけで、日中玄関に鍵をかけない暮らしを実践されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼、夜を通して利用者さんの安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険を伴うものは、のけている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止の知識を学んでいる。事故があった場合は、ヒヤリハットを書き皆で検討している。		利用者の状態を把握し、スタッフ間で連絡を取り合い、事故にならぬようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 少しずつ学んでいる。分からない時は看護しに指示を あおいでいる。		急変の方への対応の訓練を定期的行ってほしい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られる よう働きかけている	(自己評価) 年に数回、防火訓練を行っている。		推進会議などの時には、災害時の時など協力をお願い している。
			(外部評価) 車椅子を使用される方の避難方法を検討した結果、1 階ユニットに移動いただいた例もある。出入口の階 段をスロープにされた。地域の防災訓練には、職員が 参加されている。避難後の見守りを近所の方が協力し てくれるようになっている。		事業所では「防災計画」を立てておられ、災害時、避 難した利用者の見守りを地域の方にも、お願いしたい と考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 定期的に利用者さんの状態など家族に知らせている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化があった時は、すぐに看護師に連絡して支 持を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>大部分の薬は、おおまかに把握しているが用法・容量・副作用までは、把握しきれていない。</p>		<p>利用者さんが服用している薬がわかるようにファイルしている。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>何日排便がないか把握し、腹部の状態を観察している。排便を促す為に散歩などに行っている。</p>		<p>センナ茶を飲んでもらい排便を促す。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食後は、1人1人口腔ケアをしている。出来ない方は、職員が介助している。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事摂取量・水分量を把握し、介助している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所では、一日1リットルを目標に水分補給できるよう支援されており、お茶を飲まれない方には、好みのジュース等もすすめておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染症予防のため外出先帰った時は手洗いをしている。ドアノブや手すりはエタノールで消毒している。</p>		<p>肝炎・MRSAの勉強をしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板は適度に消毒し使用している。食材は賞味期限内に使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>塀がないため建物が見えやすく開放感がある。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居間などにおいて光がまぶしくないように、又暗くないようにカーテンや蛍光灯を使用し調整している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>庭や畑の手入れは、こまめにされており、利用者がくつろげるようなスペースも設けておられた。玄関には、高校生手作りの囲炉裏があり、利用者や来訪者の交流の場になっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>思い思いの場所で過ごしてもらっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家で使っていた物をグループホームでも使用している。家族と一緒に撮った写真などもかざっている。		
			(外部評価)		
			趣味の鉢植えを居室で育てたり、鏡台やテレビ・ご家族の写真等も飾られている。毎朝、職員と仏壇にご飯をお供えしている方もいる。床にマットを敷いたシンプルな居室もみられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			掃除の時や排泄の臭いがこもらないように換気に努めている。室内温度は外気温と差がないように設定している。		換気を行い、消臭剤・芳香使用をするようにしている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			ベッドから転落・転倒の危険性がある人には、マットレスを床におろし、安全に生活できるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレには便所と大きな字で書き、利用者さんにわかるようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関先などでご飯を食べたり、日光浴・夕涼みに活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	思いや願いなど訴えがある時は、理解しようとしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	隣に座って談話などして、ゆったり過ごすようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれのペースがあり、大切にしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	畑仕事、家事仕事など自分がやりたい事できることをしてもらっている時です。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何人かの利用者さんだけで散歩へ行かれるときもある。できない場合は、外出などできるよう努めているが、時と場合によって行けない時もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調に変化があった時は先生に診てもらっているが、利用者さんの不安が全部除いているとは限らない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日の都合により、我慢してもらう事がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には、いろいろ話をしているが、信頼関係となると、わからない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	馴染の人が時々訪ねて来てくれます。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	参加できる利用者が決まっており、あまり増えない。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	やりがいをもって働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満がないので、ほぼできている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族より、サービスに不満がないので満足されている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

自立した利用者さんが、多くいるので畑仕事、家事など利用者さんがやりたい事を尊重し、支援している。